



2017年7月28日
株式会社モビリティランド
鈴鹿サーキット

フランス西部自動車クラブ(Automobile Club de L'ouest)代表 ピエール・フィオン氏の来場について

2017年7月30日(日)に鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)にて決勝レースが開催される「"コカ・コーラ" 鈴鹿8時間耐久ロードレース 第40回記念大会」に、ブガッティサーキット(フランス/ル・マン市)にて、「ル・マン24時間耐久ロードレース」を主催するフランス西部自動車クラブ(Automobile Club de L'ouest、以下ACO)の代表であるピエール・フィオン氏が来場いたします。

これは、両大会がともに今年で40回の記念大会を迎えることを機にさらなる交流を深めることを目的にしたもので、この度初めての来場が決まりました。

今回、フィオン代表は、FIM世界耐久選手権の最終戦となる「"コカ・コーラ" 鈴鹿8時間耐久ロードレース 第40回記念大会」決勝レースのスタート進行に参加し、グリーンフラッグの旗手を務めます。

フランス西部自動車クラブ(ACO) P.フィオン代表

「日本の耐久レースの最大のシンボルとも言える鈴鹿8時間耐久ロードレースにおいてスタートのフラッグを振るという栄誉をいただきました。この4月には、ル・マン24時間耐久ロードレースにおいて、山下社長に公式スターターを務めていただきました。今年、私たち両サーキットは互いに40周年を迎え、またEWCの重要な2つの大会をそれぞれが開催しています。今回のこのような相互の交流が二輪の耐久レースの世界において強いメッセージを送るものであると思います。これから長きに渡る友好関係と互いに将来に向けて進むことを証明することになるでしょう。」

ユーロスポーツ・イベント F.リベイロ代表

「この40年で両サーキットは耐久レースで最も大きな伝説を作り上げました。全ての耐久の歴史のほぼ全てがフランスと日本にあります。ル・マン24時間耐久ロードレースで鈴鹿サーキットの代表である山下社長がグリーンフラッグを振ったことはパワフルなメッセージとなりました。そして今回ACOのフィオン会長が、バイクに向かって鈴鹿でのEWCグランドフィナーレのスタートの旗を振ることも、また強力なシンボルとなり得るでしょう。」

株式会社モビリティランド 取締役社長 山下晋

「4月に鈴鹿市長の代理として鈴鹿市長賞を授与するためにル・マンを訪れました。伝統のル・マン24時間耐久ロードレースのスタートフラッグを振ったことはとても光栄であり、ル・マンと鈴鹿がともに40回目の記念大会を迎えることを多くの方にお伝えするメッセージとなりました。この度、フィオン代表にも鈴鹿サーキットにお越しいただき、グリーンフラッグの旗手を務めていただくことになりました。これは、ル・マンと鈴鹿の友好関係をさらに強固なものにし、ますます連携を深める、新たなメッセージをお伝えすることになるでしょう。」



EWC PARTNER

2016-2017 FIM Endurance World Championship Final Round
The 40th "Coca-Cola" Suzuka 8 Hours Endurance Race

SUZUKA CIRCUIT
7992 Ino-cho Suzuka-shi, Mie-ken, 510-0295 Japan
Tel 81 59 3781111 Fax 81 59 3784568



OFFICIAL SPONSOR